

学校図書館司書 120 人の正規職員化を要求

鹿児島市職員労働組合 特別執行委員 野田千佐子

自己紹介 2009 年から 5 年間、鹿児島市特別職非常勤職員(公民館図書室司書)
2013 年 鹿児島市嘱託職員労働組合 立ち上げ → しかし 2014 年 3 月末雇止め
2018 年 9 月から 鹿児島市職労書記局で契約書記→会計年度任用職員担当

- ・鹿児島市職員労働組合 正規はほぼ 100%加入(再任用含む)
一方会計年度は、約 2500 人中 80 人 (内女性 66 人)
※ 鹿児島市の会計年度職種は約 200 職種 ほとんど短時間
- ・これまで交渉で勝ち取ってきたもの (別紙一覧)
今年度、給料表改定に伴う 4 月遡及、来年度から勤勉手当確定
昨年度一昨年度の、病気休暇条件付き有給化(10 日)
通勤費やボーナスが一切なかったころから考えると、17 年で 130 万円増

全国でも珍しい鹿児島市職労の 12 月～1 月の定数闘争

☆全職場要求書提出 → 本部執行委員による複数回交渉 → 職場組合員交渉 → 最終交渉

会計年度任用職員部も、恒常的業務会計年度任用職員職種の正規化
手当や休暇など正規と同様にせよ
勤務時間をフルタイムに！などの要求を続けている が！

「定数」ではない会計年度任用職員は定数闘争の蚊帳の外
発想の転換 → 定数化を求めれば、定数交渉に加われる？

学校図書館司書 120 人の正規化を要求

- ・学校図書館司書 ・全小中学校 116 校に一人ずつ配置、全員が女性、長い人は 30 年
- ・雇用の変遷 ①各学校の PTA 雇用(フルタイム) → 基本的な給料は市が助成
②になる前、勤務労働条件・雇用継続などについて交渉
②2014 年～鹿児島市特別職非常勤職員(鹿児島市嘱託職員労組加入)
勤務時間 1 時間減、異動(基本 5 年ごとの配置換え)開始
③2020 年～鹿児島市会計年度任用職員
- ・職場組合員交渉 5 人参加 学校での実態を直接教育長に訴えた
→ 結果・・・

なぜ各種専門職を正規職員として採用しないのか

会計年度任用職員としての賃金休暇などを含む勤務労働条件の改善と並行して
恒常的業務の職種を正規職員として定数化を求める
※ 同時に、諸刃の刃であることも知る必要性

ハードルは高く、すぐには変わらない
でも自分の愛する職場を守るために、次に守ってくれる誰かのために、
誰かが声を上げ続けなくては・・・